



**NET (Nagisa Enjoy Time)**

芝生の上で思い思いに遊ぶなぎさっこ子たち。今年初めて「NET (Nagisa Enjoy Time)」が行われました。これまでも1年生から6年生までの異年齢グループで掃除や朝の集会活動を行っていましたが、「もっとみんなで楽しいことがしたい。」というみんなの願いがかなって、始まった昼の遊び時間です。鬼ごっこ、なわとびなどいろいろな遊びに夢中。グループリーダーは、下学年の様子を見て皆が楽しめるように声をかけたり、励ましたり。歓声が運動場に響きました。

人の行動の意味や思いを理解するには、人へ共感や思いやりが必要です。人が感じるように感じるためには、同じような経験があると自分と人を重ね合わせることができます。ところが、ある調査によると、30年前の子どもと今の子どもは大きく違います。たとえば、放課後の遊び相手の中に、「年下の子」や「年上の子」が一人もいないと答えた子どもは、男女共に半数を超え、異年齢で遊ぶ機会が著しく減っていることが指摘されています。年齢に関係なく友だち同士という気持ちを味わうことは大切です。「2回目はいつ？」と聞いている子がいました。

NET (Nagisa Enjoy Time) これからますます楽しみになってきました。



▲なわとびあり・・・



▲おにごっこあり・・・



▲休憩タイムも大事・・・



▲元来まで楽しんで・・・

**イロハモミジ**

校門を入ると、すぐに目に入るイロハモミジ、赤く色づき始めました。葉っぱが5つから7つに大きく裂けるように分かれています。葉っぱの数をいろはにほへとと数えたことから、イロハモミジという名前が付いたと言われています。

**10月の生活目標**

- 力を合わせて取り組もう(運動会)
- 身の回りの整理整頓をしよう

人が人であることの証～「相手の気持ちを察して感じて判断してわかりあうことができる力」は、いろいろな人と関わりあうことでしか身につけることが出来ないものです。

携帯電話やスマートフォンが広く普及する時代にあっては、あえて、直接会って、顔と顔を見合わせ、声に出して話し合い、関わり、遊び、交流する楽しさや喜びを何度も何度も経験させることを意図的にしたいものです。NET (Nagisa Enjoy Time) もその一つ。授業の中にグループでの話し合いの時間を位置づけることもその一つ。

学校も家庭も人との関わりが多い環境をあえて創りだしていこうとしているところで

**転校生がきました！**

名前は、Pepper。これから5年生のプログラミング授業で活躍する予定です。

登校したなぎさっ子は、数日間Pepperにあいさつをしました。

みんなの学習しだいでは、pepperがどんどんなぎさっ子らしくなっていくと思います。楽しみですね！



**運動会まであと3日、お楽しみに……………**